


経皮的冠動脈インターベーション術(PCI)を受けられる患者様へ(橈骨、上腕用)(No1)

患者氏名(@PATIENTNAME)

日付	／ ()	／ ()	／ ()	
経過	手術前日まで	手術当日(術前)	手術当日(術中)	手術当日(術後)
達成目標	治療内容の理解ができる PCIを受けられる全身状態である	安心して手術を受ける事ができる	胸部不快感・気分不良、創部出血がない 40≤HR≤130を保つことができる	80≤BP(収縮期)≤150を保つ事ができる
治療 処置 薬剤	持参された内服薬を確認させてください 除毛(有 / 無) 薬は、前日の夕方より (全て / 一部)お預かりいたします ☆糖尿病薬は変更がある場合があります 	朝の薬は(7時/朝食後)に内服します 検査は()番目です ※救急患者入院などにより、 順番は変わることがあります 変更の際は看護師からお知らせします 検査前に(右 / 左)(手首 / 腕) に痛み止めのシールを貼ります 反対の腕(または足)から点滴を始めます 化粧、マニキュアはお控えください 時計、眼鏡等の貴金属類は外して下さい ☆入れ歯はそのまま結構です 術衣に着替えていただきます 車椅子で検査室まで行きます(帰りはベッドです) 採血/検尿がある場合があります	検査室の入口で専用の帽子を被って 検査室に入ります 検査台に横になっていただきます 心電図、自動血圧計を装着します (右/左)手首/腕を消毒した後から 検査が行われます 手術は1時間半～ 3時間ほどです	(上腕からの検査) 検査後、少しずつ透明の圧迫帯をゆるめます (手首からの検査) 翌日までそのままです 痛みがあるときは遠慮なく仰って下さい ※ご自身で外さないでください 帰室後心電図モニター、自動血圧計をつけます 血圧は1時間毎に測定します 添え木は医師の許可があるまで、 または翌日の朝までそのままです ☆帰室時、15分後、30分後、1時間後に 創部の観察をします
検査	医師の指示により、検査が入ることがあります			
活動・安静度	(病院内 / 病棟内)自由です			ベッド上安静となります (右 / 左)(手首 / 腕)は 曲げることができません 帰室後から水分は飲めます 食事は帰室後2時間後となります
栄養(食事)		朝食は(絶食/半量摂取/全量摂取)です 水は検査の約1時間前(:) まで飲めます		
清潔	手術前日に(入浴 / シャワー浴)をして下さい 状態によっては蒸しタオルで体を拭きます			
排泄	病棟のトイレをご使用ください 状態によってはポータブルや尿器を使用させていただきます	手術翌日の午前中まで、ベッド上での 安静が必要なため、手術2時間程前に 尿道に管を入れます	尿は管から出るの心配ありません 大便是寝たままでしていただきます	
説明 指導 教育	栄養指導が入る場合があります 	手術日はお部屋がナースステーションに近いお部屋へ移動となります 分からないことは遠慮なく、医師や看護師にお尋ねください 痛いとき、気分が悪いときなどはすぐにおっしゃってください		

経皮的冠動脈インターベーション術(PCI)を受けられる患者様へ(橈骨、上腕用) (No2)
 担当医師() 受け持ち看護師()

日付	／ ()	／ ()
経過	術後1日目	術後2日目～退院
達成目標	胸部不快感・気分不良、創部出血がない 40≦HR≦130を保つことができる 80≦BP(収縮期)≦150を保つ事ができる 採血結果の異常がない 退院後の生活について理解できる	胸部不快感・気分不良、創部出血がない 40≦HR≦130を保つことができる 80≦BP(収縮期)≦150を保つ事ができる 採血結果の異常がない 退院後の生活について理解できる
治療 処置 薬剤	9時～10時頃に圧迫ベルトを外し、消毒します 医師の診察後問題なければ、点滴、自動血圧計、 心電図モニターを外します 	絆創膏は外してください
検査	医師の指示により以下の検査があります 採血/心電図/胸部一般撮影	医師の指示により以下の検査がある場合があります 採血/心電図/胸部一般撮影
活動・安静度	午前中は病棟内のみ自由に動けます 午後からは(病棟内 / 病院内)自由です	(病棟内 / 病院内)自由です
栄養(食事)		
清潔	状態に問題なければ、午後からシャワー浴ができます 入浴はできません 状態によっては蒸しタオルで体を拭きます	
排泄	おしっこの管を抜きます おしっこの量を測る場合があります	病棟内のトイレを使用してください
説明 指導 教育	お部屋が移動となる時は、 看護師から説明があります 栄養指導、服薬指導が入る場合があります	